

美馬市立穴吹中学校 「生徒心得」見直しの流れ ～令和5年度版～



見直しにあたり

大切にしたこと

- ・みんなの意見を通して考える。
- ・ちがう意見や不満も尊重する。
- ・自分たちで考え、自分たちで決める。
- ・対話を通して考える。
- ・納得できる表現を考える。
- ・見直すことでだらしなくならないようにする。
- ・家計に負担をかけないようにする。
- ・困ったり迷ったりしたら相談する。
- ・できる範囲ですすめる。

中央委員会

【ゴール】生徒心得の確認をし合い、変更点を吟味する。

【ルール】・愛と思いやりをもって！

- ・自分の意見をわかりやすく伝える
- ・生徒心得についてよく考える
- ・笑顔で！



生徒・教職員意見交換会

【ゴール】自分たちで考えたことが実現できる達成感を味わう

【教職員のサポート方法】

- ・子どもたちの思考を深める質問を！
- ・生徒たちが不安を感じている箇所へのアドバイスを！
- ・まとまりきらない案件は持ち越し！

【内容】①改正案の説明

- ・採用しなかった改正案の理由
- ・改正の詳細説明と質疑応答

②教職員からのアドバイス



今回見直した「生徒心得」は平成17年2月に生徒心得検討委員会が、各学級より上がった心得の改訂の要望事項を取りまとめ、中央委員会で検討し、生徒総会で決定されたもの。平成17年度より施行。平成23年と平成31年に一部改正、令和4年に大幅改正されているものである。

各自で

- ・6月下旬 学活&宿題
- ・生徒心得を各自で読み、気になる箇所に線をひき、気になることをメモする。

全校で

- ・7月上旬 全校で異学年4人グループをつくりホワイトボード・ミーティング®実施
- ・ホワイトボード・ミーティング®の進め方は右参照
- ・各グループで改善案を作成し、生徒会に向けてプレゼン実施 2時間で実施

生徒会で

- ・7月上旬～下旬 始業前・放課後 生徒会で全校から出てきた提案の洗い出し作業
- ・採用する改善案と採用できない案の選別と理由付け
- ・生徒心得の見直し案の作成

中央委員会で

- ・9月上旬 夏季休業日中 生徒会+各実践委員会委員長+各学級委員
- ・生徒会で作成した見直し案の説明と質問対応
- ・意見の集約

生徒会で

- ・9月上旬
- ・中央委員会を経て、見直し案のブラッシュアップ

職員会へ

- ・9月中旬 作成した見直し案を職員会へ提出
- ・教職員は各自で読み、質問事項をまとめる(あくまでも生徒たちの意見を尊重するスタンス)

生徒会で

- ・9月中旬
- ・教職員からの質問の回答作成 想定質問の回答作成

生徒会・教職員意見交換会

- ・9月下旬 ・生徒会役員・教職員
- ・生徒会から見直し案の説明
- ・教職員からの質問への回答
- ・案件等について教職員からのアドバイス

生徒会で

- ・10月上旬
- ・生徒会と教職員の意見交換を経て、最終案のブラッシュアップ

校長へ説明

- ・10月上旬
- ・生徒会が校長へ見直し案を提示 了承を得る



全校集会

- ・10月中旬
- ・全校集会で見直し案と根拠の説明 今後の留意点の説明

新生徒心得施行

- ・10月13日より 新生徒心得施行

全校で振り返り

- ・11月下旬(予定)
- ・全校ホワイトボード・ミーティング®実施 施行後の振り返り

全校ホワイトボード・ミーティング® 進め方

- ・異学年4人グループで
- ①4人でフリートーク(5分)
「生徒心得」読んでみてどうだった？
- ②【前提】見直したい項目を決めよう
【発散】みんなが納得できる
○○のルールという？
- 【収束】大切にしたいこと
【活用】改正項目・具体例・メリット
- ③班ごとにプレゼン

※ちょんせいこさん(株式会社ひとまち代表取締役)が開発したホワイトボードを活用して進める会議の方法。本校では4年前から様々な教育活動の場面で取り入れています。詳しくは(株)ひとまのホームページをご覧ください。



※生徒心得の見直しは毎年実施～自分たちのルールは自分たちで見直す～

令和5年7月10日全校ホワイトボード・ミーティング®

美馬市立穴吹中学校 「生徒心得」見直しプロジェクト

昨年度から本格的に始まった「生徒心得」見直しプロジェクト。今年も「生徒心得『23』」として改訂を行いました。生徒会が目指したのは「**みんなの対話を通じた合意形成**」このプロジェクトの目的は「**社会の一員として自立して・社会に役立ち・幸せに生きる基盤づくり**」



僕にとっては2回目の生徒心得改正で、1年生も入った新体制で臨みました。全校での話し合いでは、昨年とはまた違った視点からの意見も多く、面白いなと思いました。しかし、みんなが納得できる理由を考えるのは、生徒会も生徒の皆さんも苦労していました。生徒会での話し合いでは、みんなの意見が合わないときもありましたが、これらの心得は**全員が協力して作ったものです**。みんなで守っていきましょう。
生徒会長 武田 大輝

今年度も全校生徒で生徒総会を開き、たくさんの意見を取り入れることができました。時間もかかり大変でしたが、自分たちで考えた心得が施行されるのが楽しみです。**みんなで声をかけ合い、守れるようにしていきたいです**。
副会長 小山 美咲

生徒会役員として生徒心得の見直しに貢献することができて良かったです。ホワイトボードを使っての話し合いを通して全校生徒で意見をまとめ、実際に心得に取り入れることができたときは、達成感がありました。なかなか意見がまとまらないこともあったけれど、その分私にとってもすごく良い経験になりました。**みんなでつくった生徒心得を、これから守って、呼びかけをしていきたいです**。
副会長 知野 真帆

生徒心得を改正して、全校生徒で話し合っよりよく改善することができました。全校生徒が**わかりやすく改善するのは大変だったけれど、全員が過ごしやすい学校生活を送れる生徒心得ができたのでよかったです**。
書記 泉木 心結

生徒会の目標は、**毎年生徒心得を見直して学校生活をより過ごしやすいようにすること**です。今年も全校生徒から意見を聞くことができました。全員が楽しく学校生活を送れるようにこれからも頑張りたいです。
書記 中津 穂香

皆の意見を取り入れ、不明確だったところは明確に、足すべき内容は足し、よりよい生徒心得になったと思います。全校集会で意見を生徒会でまとめることはとても難しかったけれど、完成するととても達成感を感じました。これからは**共通認識を深めるために呼びかけをしつかりしよう**と思います。
書記 佐古 康惇

なるべく皆が納得できるような生徒心得にするために、生徒会で話し合うことができました。生徒心得を改正するにあたりたくさんの壁にぶつかることもありましたが、生徒会ひとりひとり、また先生方との話し合いなどによってよりよい生徒心得になったと思います。生徒会の一員として生徒心得改正に関われたことは良い経験になりました。来年もよりよい生徒心得にするために**今年1年不都合な所はないか、きちんと守れているかを意識して生活していきたいです**。
書記 竹内 葉那



世の中は、「これおかしいな、少し違和感がある」と思うことがたくさんあります。そんなときどうするか、どんな行動がとれるのか、それを今この穴吹中学校で「生徒心得の見直し」の中で、自分たちの意見を反映させるための行動、として勉強しています。今年も長い道のりでしたが、その一つ一つに意味があり、逆にこの生徒心得によって「自分たちは守られている」ということも学びました。意見を出し合い、対話し、丁寧に吟味し、しかも「穴吹中学生らしく」を大切にしたい今年の見直しは、これからの穴吹中学校をさらに発展させることと確信しています

令和5年10月 穴吹中学校長 横畠亜希子

変更点

| 見直し前 | 見直し後 |
|----------------------------|---|
| 靴下の色は白・黒・紺を基調とする。 | 靴下の色は白・黒・紺の 単色 とし、 ワンポイントまで 。 ラインは2本まで とする。 |
| 前髪の長さは眉毛が隠れない程度。 | 前髪は 目が見えて表情が見える ようにする。 |
| 夏は熱中症予防のため体操服で登校してもよい。 | 夏や熱中症予防のため体操服で 登下校 しても良い。 |
| 夏場は熱中症予防のため、体操服で授業を受けてもよい。 | 削除 授業は制服 で受ける。 |

各班からの意見

| 各班からの提案 | 決定事項 |
|--------------------------------------|---|
| 7:55登校を8:00登校にしてほしい | 現行通り ・7:55には教室に入り、片付けを終えて8:00にはそろって朝学習が開始できるようにする。 ・タイムマネジメントを意識する。 |
| 靴下の色を自由にしてほしい | 現行通り ・靴下の白は「白・黒・紺」の単色。ワンポイントまで。ラインは2本まで。 ・学校は公共の場。身だしなみを整える。 |
| 掃除の時間に部活動等で着ているTシャツを着たい | 不採用 ・掃除も授業の一環なので、制服か体操服で掃除をする。 |
| 靴の色を自由にしてほしい(家用、学校用と2足必要になるので負担がかかる) | 不採用 ・学校は公共の場。身だしなみを整える。 ・日常で履く靴を学校でも履くとお金はかからないが、受検等で必要になったときに買うのでお金がかかり、逆に負担になる。 |
| 廊下を自由に行き来できるようにしてほしい | 不採用 ・廊下で話をする人が多くなると混雑する。 ・感染症対策で学年を分ける方がよい。 ・他学年とのトラブルを避ける。 |
| Tシャツを着るときに外に出したい | 不採用 ・身だしなみを整える。 ・安全のためにTシャツはズボンの中に入れる。 ・熱中症対策としては、他の熱中症対策をする。 ※ただし、休憩中は出して涼んでもよい。 |
| 友人の家での外泊を許可してほしい | 不採用 ・トラブルが起きたとき、自分たちだけでは解決できない。責任がとれない。 ・負担がかかるのは自分の家族や友達の家族。 ・それぞれに心配をかけてしまう。 |